

決勝戦を終えて・・・

## 【エピソード】

### エピソード1 胴上げ

「タカイ！タカイ！タカイ！」のコールが選手の間から起こり、野球部長の高井正人氏が胴上げ。そうです。大阪で若い時にエレクーンの販売などをしていた高井さんが胴上げされました。彼の人柄が伺えて、思わずニコリしてしまいました。

### エピソード2 応援の応援

決勝戦の受付に女性が来て、「応援団の応援に来たのですが、入っていいですか？」受け付け係は思わず、「????」 そうか、応援バンドのエキストラ(通称トラ)の方か。応援曲はアップテンポでハイトーンが多い曲ばかり。トランペットを始めとした、金管奏者は唇がバテバテになってしまうでしょうね。又、聞くとところによると、ドラムは3人で交代しながら叩かないと、持たないそうです。ヤマハの応援バンドにも大きな拍手を送りたいと思います。

パチ パチ パチ

### エピソード3 YAMAHA初優勝

42年の日本選手権の歴史の中で、ヤマハブランドの優勝は今回が初ではありません。ヤマハがまだ日本楽器であったころ、ヤマハ発動機の当時の野球部が優勝しているそうです。OBの方なら、覚えている方もいらっしゃるかもしれませんね

### エピソード4 優勝戦の後の飲み会で・・・

「MVPは池田になるのだろうけれど、俺は九谷だと思ふな。  
だって、5試合の内、4試合に投げてるし、見事な火消しだったと思ふけれどな」  
「青柳や佐藤も捨てがたいが、俺も九谷だと思ふな。」  
ということで、この飲み会でのMVPは九谷に決定。  
まあ、酔っ払いのたわごととお聞き流してください。

### エピソード5 後遺症(?)

帰宅して眠ろうとして、気が付きました。  
まだ、頭の中で、ヤマハの社歌とコンパットマーチが交互に鳴り響いているのです。  
なんと、その後遺症(?)は私は2日間続きました。

それでは皆様、お休みなさい。ああ疲れた！

最後にヤマハ選手の5試合のスタッツをお届けします。  
 (公式記録ではありません。私が勝手に集計しただけです)  
 (もし集計ミスがあったらごめんなさい)

内野手

背番号		打率	打点	HR	四死球	犠打
1	羽山 弘起	—				
3	石野 雅之	0.125				
5	萩原 圭悟	—			4	
6	青柳 直樹	0.563	1	1		1
10	河野 拓郎	0.474	6			
25	前野 幹博	0.263	5	1		
36	佐藤 二郎	0.368	6	1	2	
外野手						
0	鈴木 光	0.333			1	2
1	矢幡 勇人	0.389	2		3	
4	長谷川 雄一	0.118			1	1
23	池知 祐也	0.5	1			
33	柳 裕太	—				
捕手						
8	川邊 健司	0.176			1	
22	井上 結貴	—				
チーム合計		0.313	21	3	12	4

投手

		試合数	投球イニング	被安打	与四死球	奪三振	失点
13	九谷 青孝	4	8回3分の2	3	3	3	1
14	鈴木 博志	1	5回3分の1	3	7	5	1
18	フェリペ ナテル	3	7回3分の1	9	5	6	5
19	伊藤 直輝	1	4回	2	1	2	0
21	池田 駿	3	19回3分の2	17	8	19	5